

島津天井式X線管懸垂器

CH-4

CEILING TYPE X-RAY TUBE MOUNT

用途

このX線管懸垂器は、各種X線管・X線管容器およびX線高電圧装置と組み合わせて使用し、つぎの用途に適します。

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1 一般直接撮影 | 8 間接ホトタイマ撮影 |
| 2 リーダ撮影 | 9 フィルムワイド使用による間接撮影 |
| 3 拡大撮影 | 10 間接撮影 |
| 4 ブッキ撮影 | 11 近距離撮影 |
| 5 連続撮影 | 12 遠距離撮影 |
| 6 定はく動位相撮影 | |
| 7 直接ホトタイマ撮影 | |

特長

1. 有効な床面積の利用

使用しないときは、X線管容器を頭上に収められますので、床上を目的に応じて有効に利用できます。

2. 広い移動範囲

天井からX線管容器を懸垂していますので、前後・左左・上下とも広い移動範囲をもっています。

3. 軽快な移動

操作はすべて手動式になっていますので、特別な電源を必要としません。また、特殊バランスウエート方式によって、前後・左右・上下の各移動は非常に軽快に行なえます。

4. 普及形の高性能X線管懸垂器

従来の装置に比べて機構が簡易化され能率的で、かつ、高性能を誇っております。

仕様

このX線管懸垂器の仕様は、つぎのとおりです。

- 標準天井高サ 約 283cm
- 天井レール幅 約 300cm

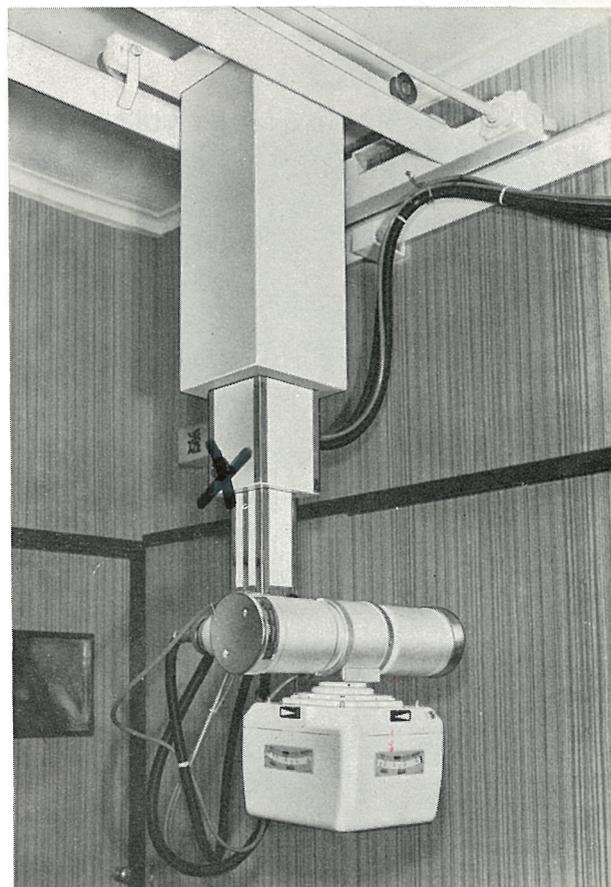


図1 CH-4 本体 (X線管・容器・多重シヤッタを含まず。)

3. 移動範囲

上 下：最低75cmから最高180cmまで
(天井高サ約283cmの場合)

前後・左右：約260cm×約260cm

- 水平軸まわり回転 360度
- 垂直軸まわり回転 360度
- 標準ケーブル長サ 高圧ケーブル：14m
低圧ケーブル：12m
- 重量 約400kg (X線管容器を含む)

構成および価格

1. このX線管懸垂器の構成は、つぎのとおりです。

- 天井レール部
室内壁面および天井面にレール取付金具およびレールを取り付けて、走行レール部を前後に移動させるためのものです。
- 走行レール部
昇降支柱部を左右に移動させるためのもので、かつ天井レールにより前後に移動できます。